

女子大学の日常に溶け込む ICT 研究教育事例

講演者

氏名 伊藤貴之



お茶の水女子大学 理学部情報科学科

1990 年早稲田大学工学部電子通信学科卒業、1992 年早稲田大学大学院理工学研究科電気工学専攻修士課程修了。同年日本アイ・ビー・エム株式会社入社、東京基礎研究所配属。1997 年早稲田大学にて課程外で博士(工学)。2000 年米国カーネギーメロン大学客員研究員、2003 年京都大学大学院情報学研究科 COE 研究員(客員助教授相当)。2005 年日本アイ・ビー・エム株式会社退職、お茶の水女子大学理学部情報科学科助教授(のちに准教授に改名)。2011 年同大学教授、同大学シミュレーション科学教育研究センター長兼任、現在にいたる。

その間、可視化、マルチメディア、ユーザインタフェース、コンピュータグラフィックス、CAD、科学技術シミュレーション、分散処理システムなどの研究プロジェクトに従事する。また現職では、マルチメディア、画像処理、コンピュータミュージック、コンピュータグラフィックスなどの講義科目を担当する。

芸術科学会副会長・論文誌論文委員長・NICOGRAPH 委員長、画像電子学会理事、国際会議 VINCI 2015 大会委員長、国際会議 IEEE Pacific Visualization 2014 組織委員長、国際会議 ACM Applied Computing Multimedia Visualization トラック委員長などを歴任。